



幹細胞を用いた
化学物質リスク情報共有化コンソーシアム
scChemRISC Stem Cell-based Chemical Risk Information Sharing Consortium (scChemRISC)

2025 年 6 月吉日

幹細胞を用いた化学物質リスク評価コンソーシアム
2025 年度 年会 ご参加の皆様

大会長 小島 肇
(山陽小野田市立山口東京理科大学)
scChemRISC 代表 曾根 秀子
(横浜薬科大学)
公印省略

2025 年度年会ご参加の御礼

拝啓

初夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度はご多用の中、本コンソーシアム 2025 年度年会にご参加いただき、誠にありがとうございました。本年会では、T. Hartung 博士による NAMs の推進状況に関する最新報告をはじめ、Public Health や FDA Roadmap の展望、米国における Regulatory Science の現状について幅広いご講演をいただきました。

また、当コンソーシアムが協力して進めております JST A-STEP プロジェクトの進捗についてもご報告し、「幹細胞の質を考える」をテーマに、実用化に向けた取り組みや課題について活発な意見交換が行われました。

ご参加の皆様にとって、本年会が実りある情報交換の場となっていれば幸いです。なお、本年会の内容や今後の活動に関して、ご不明な点、ご質問やご意見などがございましたら、どうぞお気軽に事務局までお知らせ下さい。

今後も、本コンソーシアムでは、幹細胞を活用した化学物質のリスク評価や毒性予測技術の発展に貢献できるよう、関係者の皆様と連携しながら取り組んで参ります。また、例年通り研究会の開催も予定しております。詳細が決まり次第、改めてご案内申し上げますので、ぜひご参加頂けると幸いです。

引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具